

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 2924 URL http://www.ifuji.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,173	22.1	99	△42.2	105	△42.0	73	△41.6
26年3月期第1四半期	2,599	5.2	172	△5.3	182	△4.5	124	14.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 73百万円(△41.0%) 26年3月期第1四半期 124百万円(14.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	8.76	—
26年3月期第1四半期	14.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,436	3,823	45.3
26年3月期	8,044	3,816	47.4

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,823百万円 26年3月期 3,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,306	16.8	174	△45.4	174	△47.8	99	△55.5	11.93
通期	13,150	4.0	549	63.0	542	48.2	316	34.1	37.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	8,345,370株	26年3月期	8,345,370株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	13,047株	26年3月期	12,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	8,332,471株	26年3月期1Q	8,334,230株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税の増税による反動から個人消費の低迷が見られたものの、政府の経済政策等により株価の上昇や雇用環境の改善が図られ、国内景気は緩やかに回復の気配が見られました。

食品業界におきましては、円安や消費税の増税等の影響により物価が上昇しており、消費者の生活防衛意識が強まることが予想され、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業において販売数量が増加したこと等により、前年同期比22.1%増の3,173百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において原料買付単価が上昇したこと等により、営業利益は同42.2%減の99百万円、経常利益は同42.0%減の105百万円、四半期純利益は同41.6%減の73百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高とも増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定にする努力をしております。

当セグメントの売上高につきましては、販売数量が前年同期比5.2%増加したことや鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比27.5%（約45円）高く推移したこと等により、液卵売上高は前年同期比27.6%増の2,730百万円となりました。また、加工品売上高は同9.3%減の98百万円、その他売上高は同12.3%増の63百万円となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の合計の売上高は、同25.5%増の2,892百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に加工用原料卵が不足していることに伴い、原料買付単価が上昇したことにより、前年同期比48.6%減の73百万円となりました。

#### ②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、主に既存商品の販売が減少していることから、前年同期比5.1%減の268百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の減少の影響により、前年同期比8.9%減の21百万円となりました。

#### ③その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比0.1%増の11百万円となり、セグメント利益は同18.3%減の4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は8,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ392百万円増加しました。

流動資産は4,425百万円となり前連結会計年度末に比べ327百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加411百万円、商品及び製品の増加174百万円、受取手形及び売掛金の減少262百万円等によるものであります。

固定資産は4,011百万円となり前連結会計年度末に比べ64百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加30百万円及び土地の増加17百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円増加しました。

流動負債は2,861百万円となり前連結会計年度末に比べ95百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等の増加34百万円、未払消費税等の増加20百万円等によるものであります。

固定負債は1,751百万円となり前連結会計年度末に比べ289百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加295百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,823百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益73百万円の計上及び配当金の支払い66百万円により利益剰余金が6百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.4%から45.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月1日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,313	1,724
受取手形及び売掛金	1,959	1,696
商品及び製品	394	568
仕掛品	41	42
原材料及び貯蔵品	294	307
繰延税金資産	15	38
その他	84	51
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	4,097	4,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,045	1,026
機械装置及び運搬具（純額）	516	546
土地	2,069	2,086
その他（純額）	100	115
有形固定資産合計	3,732	3,774
無形固定資産	11	16
投資その他の資産		
投資有価証券	61	62
繰延税金資産	120	122
その他	33	47
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	203	220
固定資産合計	3,947	4,011
資産合計	8,044	8,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567	549
短期借入金	1,702	1,647
未払法人税等	24	59
未払消費税等	2	22
賞与引当金	57	37
役員賞与引当金	—	4
その他	411	540
流動負債合計	2,766	2,861
固定負債		
長期借入金	824	1,119
負ののれん	18	12
長期未払金	567	567
繰延税金負債	29	29
その他	21	21
固定負債合計	1,461	1,751
負債合計	4,227	4,612
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,990	2,997
自己株式	△5	△5
株主資本合計	3,807	3,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	9
その他の包括利益累計額合計	8	9
純資産合計	3,816	3,823
負債純資産合計	8,044	8,436



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,599	3,173
売上原価	2,062	2,683
売上総利益	537	490
販売費及び一般管理費	364	390
営業利益	172	99
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	6	6
受取賃貸料	1	1
貸倒引当金戻入額	3	—
その他	2	3
営業外収益合計	14	11
営業外費用		
支払利息	4	5
営業外費用合計	4	5
経常利益	182	105
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	182	105
法人税、住民税及び事業税	55	57
法人税等調整額	2	△24
法人税等合計	57	32
少数株主損益調整前四半期純利益	124	73
少数株主利益	—	—
四半期純利益	124	73

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	124	73
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	124	73
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124	73
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,304	283	2,588	11	2,599
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,304	283	2,588	11	2,599
セグメント利益	143	23	167	5	172

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	167
「その他」の区分の利益	5
四半期連結損益計算書の営業利益	172

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,892	268	3,161	11	3,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,892	268	3,161	11	3,173
セグメント利益	73	21	95	4	99

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	95
「その他」の区分の利益	4
四半期連結損益計算書の営業利益	99

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。